

衛星データを活用し、 新ビジネスの創出・業務改善 に挑戦してみませんか？

参加
無料

開催日時

2023年 **2月28日** 火 14:00~16:00

対象

- ・防災、農業、林業、道路等インフラ管理関連部署の自治体職員
- ・衛星データの利用に関心のある県内IT企業等

開催場所

岐阜大学 サテライトキャンパス
多目的講義室（大）

岐阜市吉野町6丁目31番地 岐阜スカイウイング37 東棟4階

講師 | 株式会社天地人



立石 悟氏
事業開発

建設環境コンサルタントとして、中央省庁や自治体への技術営業に従事したのち、(株)天地人に参画。環境科学を専門とし、環境調査や気候変動対策、インフラ対策に係る衛星データ事業を主に担当。

近年、安価で短期間で開発できる小型人工衛星の開発・打上げが活発化し、より『リアルタイム』に近い地球観測サービス等が開発されています。今回は、これらを活用した新たなビジネスの創出や、農地、森林及びインフラ管理、防災利用など行政サービスへの活用状況を学び、岐阜県から衛星データを活用した新たなビジネス等が誕生することを目指して開催します。

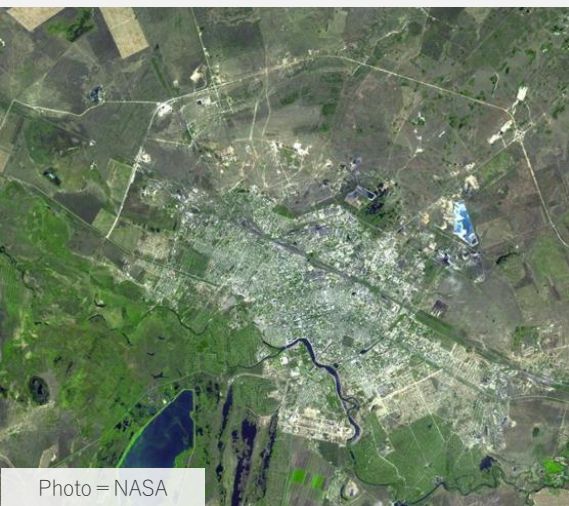


Photo = NASA

参加費：無料

定員：60名

概要：

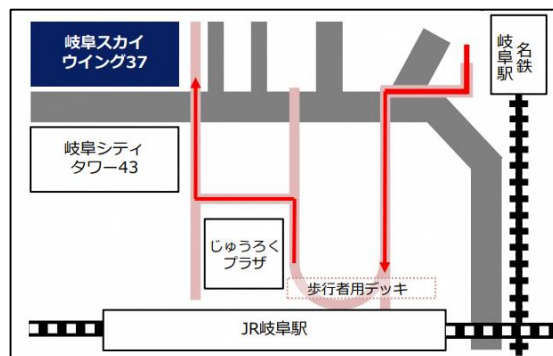
- ぎふ宇宙PJ研究会の取組み（事務局）
- 現状の宇宙ビジネスの全体像（Space BD(株)）
- 衛星データを活用した課題解決（株)天地人)
 - 人工衛星データ市場のトレンド
 - 自社の取り組み事例（危機管理(災害対応)/土木(インフラ管理)等）
- 岐阜県内の取組み事例（下呂市）
 - 衛星データによる耕作放棄地の見える化（超効率的な農地パトロール調査）

お申込みはこちら


<https://logoform.jp/form/T8mB/215905>

〔衛星データとは？〕

- 人工衛星から得られる地球観測データのこと、「陸域」、「海域」、「空域」の多くの事象や状況を、世界中どこでも把握することができ、国内の民間衛星は2025年以降に**10分間隔以下での観測**を目指しています。また、マイクロ波による**悪天候時の撮影**や**センチメートル単位の高差**の変化（地盤沈下）の把握も可能です。
- 日本では、政府による衛星データプラットフォーム「Tellus(テルース)」が運用されています。一般の事業者でも利用可能な**汎用的なデータ**に加工されており、**無料もしくは安価**に利用できます。
- 機械学習などのデータ解析技術を応用した民間サービスの増加に伴い、これまで宇宙とは関連の無かった業界における新ビジネスの創出や、効率的な行政サービスへの発展などが期待されています。



お問い合わせ

岐阜県商工労働部航空宇宙産業課 〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

TEL：058-272-8836 E-mail：c11354@pref.gifu.lg.jp